

Googleが追加する新しい評価の指標 ～6月中旬から行われるアップデートについて～

本日はセミナーにご参加いただき ありがとうございます

- 12:45にセミナーを開始いたします
- マイクをオフにさせて頂いております。周囲で音がしてもセミナーには影響ありませんので、ご安心下さい
- ぜひ、メモをご用意ください
- ご質問はzoomのチャットから受け付けます



あきばれホームページ

**Googleが追加する新しい評価の指標
～6月中旬から行われるアップデートについて～**

株式会社WEBマーケティング総合研究所

2021/06/17

本日の目次

1. 2020年5月のGoogleの発表
2. ページエクスペリエンスとは
3. 新しいページエクスペリエンスシグナル
4. コンテンツの質について
5. まとめ

1.2020年5月のGoogleの発表

Googleのアップデートについて

Googleはユーザーに役に立つ情報を検索結果の上位に表示するために、日々アップデートを行っています。

アップデートは頻繁行われておりますが、その内容について公式に発表するものと発表しないものがございます。

大きなアップデートは公式に発表されます。昨年月にGoogleからページエクスペリエンスアップデートの発表がございました。



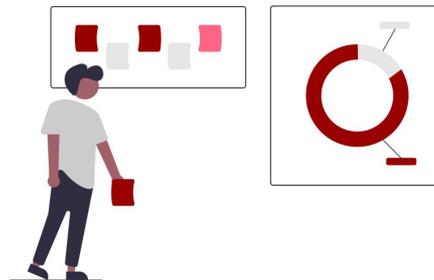
なぜGoogleの話をするのか

Googleのシェア率は**60%弱**

Yahoo!のシェア率は**30%弱**

でございますが、

実はYahoo!の検索エンジンは
Googleの検索エンジンを使っています。



※ユーザーの傾向がGoogleとYahoo!の検索エンジンでことなるため検索順位が異なる場合がある

Googleの対策を行えば90%以上の検索ユーザーの対策ができる

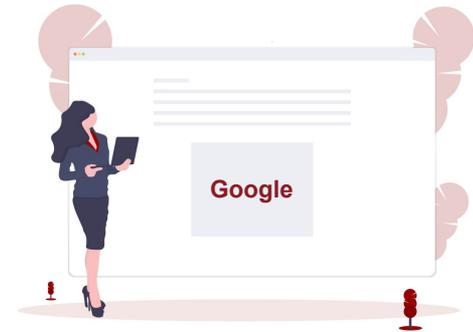
2020年5月のGoogleの発表

そんなGoogleから2020年5月、
検索ランキング要因に
ページエクスペリエンスシグナルを導入予定と発表がありました。

2021年6月中旬から8月末にかけて段階的に導入されるそうです。

この変更を「ページエクスペリエンスの更新」
といいます。その中でも重要なのが、
3つのウェブに関する主な指標(=Core Web Vitals)です。

([Google検索セントラル](#)より)



2. ページエクスペリエンスとは

ページエクスペリエンスとは？

ページエクスペリエンスとは、
ユーザーがウェブページで操作を行った際の、
情報そのものの価値以外に関する
エクスペリエンスの尺度となるシグナルのセットです。

([Googleのページエクスペリエンス解説ページ](#)より)



ページエクスペリエンスとは？

要は、

- ページの内容は役に立つか
- 権威のある人が書いた情報か
- ウェブページの閲覧が快適か

などの評価基準です。

このウェブページの快適さを表す指標が、
ページエクスペリエンスシグナルです。



ページエクスペリエンスの更新によって、既存の指標(検索シグナル)に、ウェブに関する主な指標(=Core Web Vitals)が追加されます。

3.新しいページエクスペリエンスシグナル

新しいページエクスペリエンスシグナル

既存の検索シグナル

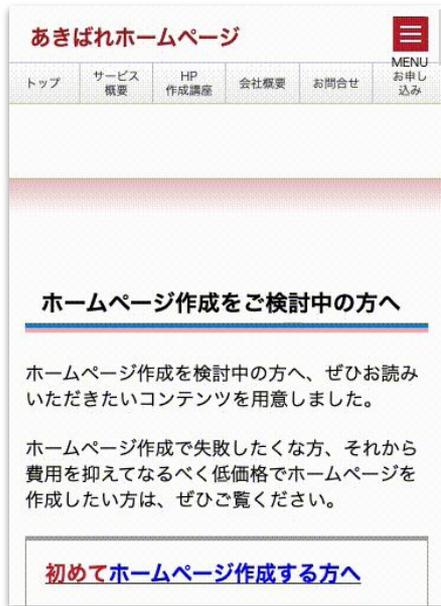
- Mobile Friendly
↳ モバイルで使いやすいか
- Safe Browsing
↳ 悪意のあるプログラム等が埋め込まれていないか
- HTTPS
↳ 常時SSLか
- No Intrusive Interstitials
↳ 邪魔なポップアップは少ないか

ウェブに関する主な指標(CoreWebVitals)

- Largest Contentful Paint(LCP)
↳ ファーストビューの中で一番大きな要素を表示するまでにかかった時間
- First Input Delay(FID)
↳ リンクのクリックなどにページが反応できるようになるまでの時間
- Cumulative Layout Shift(CLS)
↳ ページ読み込み時のレイアウトの移動量

Largest Contentful Paint (LCP)

- 「ビューポートに表示される最も大きなコンテンツ(画像など)を表示するまでにかかった時間」
↳ビューポート=ファーストビューと捉えて問題ありません
- これを2.5秒以下に抑えるとGOOD評価をもらえます



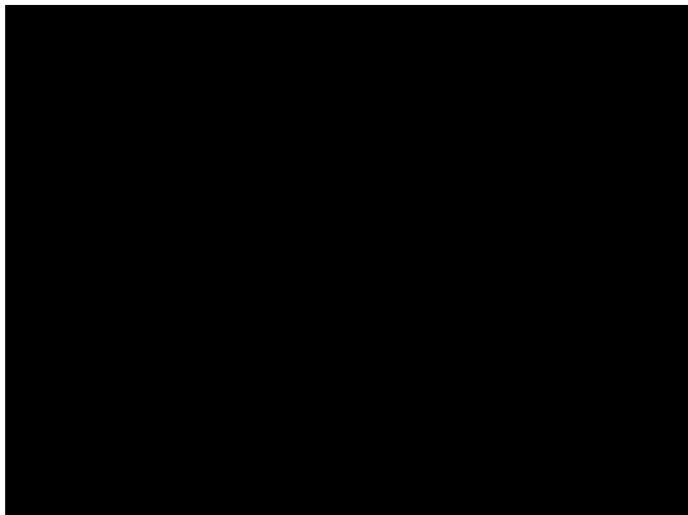
First Input Delay (FID)

- 「最初にページ内でリンクのクリックなどの操作をして、その操作にブラウザが応答するまでの時間」
- ウェブサイトは、表示された後も裏でいろいろと準備体操のようなことをしています。
- その準備体操が終わらないと、リンクがクリックできなかったりフォームが送れなかったりします。
- これを100 ms以下に抑えるとGOOD評価をもらえます



Comulative Layout Shift (CLS)

- ページ読み込み時のレイアウトの移動量
- 評価スコアの範囲は0~1
 - ↳ 0 は移動なし
 - ↳ 1 は移動量が最大
- 0.1未満に抑えるとGOOD評価をもらえます



なにやら難しそう……

ご安心ください。

Google 検索セントラルの「[ページエクスペリエンスのGoogle検索結果への影響について](#)」というページには次のように書かれています。

ページエクスペリエンスは重要ですが、それでもGoogle は、ページエクスペリエンスが劣っていても、**全体的に価値の高い情報を含むページを上位にランキング**するようにしています。

つまり、いくらページエクスペリエンスが優れていても、コンテンツが優れたページを上回ることはありません。ただし、関連性が同程度のページが多数存在する場合の検索ランキングにおいては、このページエクスペリエンスが一段と重要になります。

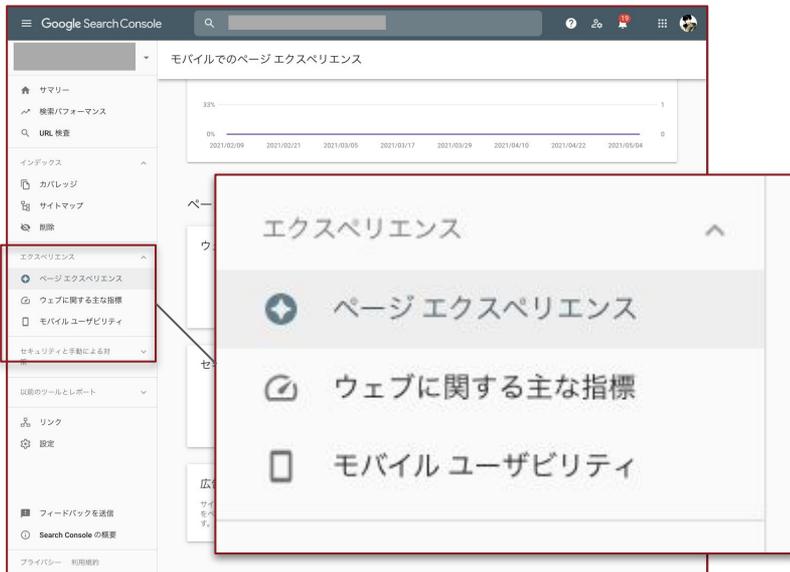


ページエクスペリエンスよりもコンテンツの質が重要です！！

各指標をチェックする方法

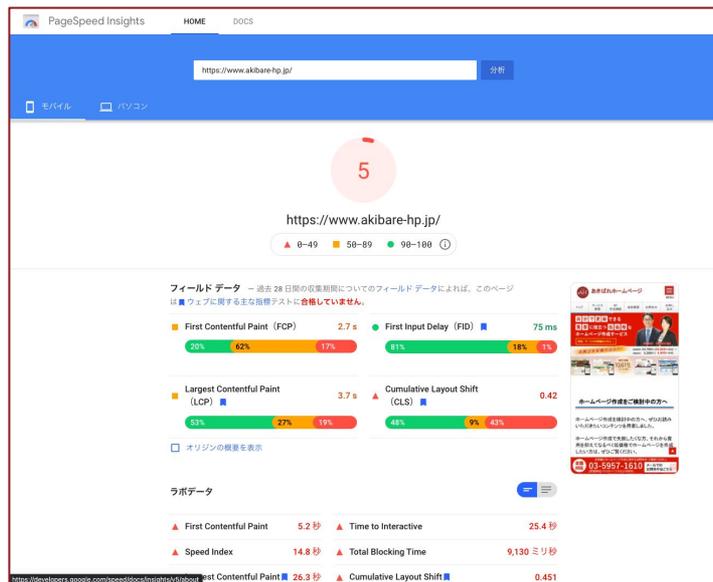
サイト全体を日々チェックするならGoogle Search Console

サーチコンソールに登録してあれば、サイト内のページを自動で日々チェックしてくれ、問題があれば教えてくれます



各指標をチェックする方法

個別のページの問題点を分析するなら [PageSpeed Insights](#)



- 調べたいページのURLを入力して分析をクリックするだけのお手軽調査
- とりあえずトップページをすぐに分析したい場合などに便利です
- ※サイトに認証がかかっていると使用できないので注意

3G回線での評価を基準としているため、結果の時間が体感よりも大きい点に注意

ご自身できること

1. Googleマップの遅延読み込みが入っているか確認する
2. 画像を小さくしてからCMSにアップする



会員さまサイトを模したダミーサイトを作り、中の画像を全て容量の軽い画像にCMS上で変更したところ、パフォーマンスのスコアが62から89に上がりました

1. Googleマップの遅延読み込みが入っているか確認する

現在、Googleマップから地図埋め込み用のコードを取得すると、自動で

`loading="lazy"`

が追加されています。これがあることで、

必要になるまで地図のデータをダウンロードしない

という動きになり、ファーストビューの速度改善が

期待できます。

以前のGoogleマップでは、このloading属性が

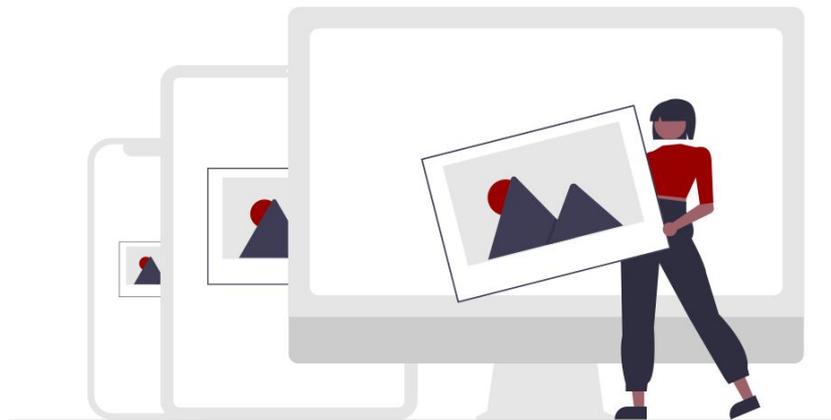
ついていませんでした。



2.画像を小さくしてからCMSにアップする

- 横幅x高さの値を必要最低限にする
- 画像の形式を適切なものにする(写真だったら jpg、イラストなら png、など)
- 出力時の画質をできる限り落とす(jpgの画質50%、など)

といった、一般的なウェブサイトのパフォーマンス改善の手法。



4.コンテンツの質について

質の良いコンテンツとは

- オリジナルのコンテンツ
- ユーザーの求めている情報であるか
- 内容が充実しているか(独自の見解や、分析等)
- ユーザーが読みやすいか(素人が見てもわかりやすい、画像や動画を使っている等)
- 信頼できる情報か(根拠がある、その記事の専門家である等)

の5つの基準を満たしているコンテンツです。

ユーザー目線に立ちユーザーに有益な情報を与えられるサイト(役立つサイト)として認識されることがSEO対策をしていく上でとても重要です。



まとめ

- ❖ 2021年6月中旬から8月末にかけて段階的にページエクスペリエンスシグナルが導入されますが
- ❖ ページエクスペリエンスよりもコンテンツの質が重要です

ページエクスペリエンスの更新とは別に、6月と7月にGoogleのコアアルゴリズムアップデートが行われると発表ありました。そのため、検索順位が大きく動くかもしれませんが、8月あたりまではアップデートの対策はせず、地道に更新を続けてください。



まだまだコロナは続きますが..

次回は、来週木曜日の12:45～13:30の予定です

テーマ：未定

新型コロナウイルスに負けずに がんばりましょう！